

令和 5 年 8 月 17 日  
帯広開発建設部

## 帯広排水機場における重油の流出について（第10報）

～重油浸透箇所の監視を継続しています～

6月23日に発生した帯広排水機場の敷地内における重油の流出について、本日14:00現在の対応状況をお知らせします。

### 1 事実関係

- ・流 出 場 所： 帯広市東12条南2丁目地先 帯広排水機場
- ・流出物及び流出量： A重油 7,450リットル（推定）
- ・被 害 の 有 無： 現時点においても、施設敷地外や河川への流出は確認されていません。

### 2 時系列

- ・6月23日（金） 帯広排水機場の敷地内で重油の漏れを確認  
(重油漏れ箇所は補修済み、排水機場は稼働可能に復旧済み)
- ・6月23日（金）～継続中  
土砂撤去等の重油回収作業、定期監視、オイルフェンス設置（予防措置）  
(別紙1参照)  
(8月17日現在、大型土のう174袋分の土砂撤去により、概ねの汚染土砂の掘削は終了しましたが、掘削範囲や周辺の土壤について監視を継続しています)
- ・6月29日（木） 排水機場の擁壁の継目から重油の染み出しが確認されたため、止水セメントによる対策を実施（別紙2①参照）。
- ・7月16日（日） 排水機場の擁壁の継目（別紙2②）及び下端（別紙2③）から一時的に重油の染み出しが確認されたため、オイルマットによる対策を実施。
- ・7月21日（金） 安定した燃料供給を目的に屋外の燃料タンクから排水機場の間に仮設の燃料配管を敷設しました。（別紙3参照）  
また、定期点検に伴う水位上昇時に備えて排水機場擁壁下端（別紙2③）に土のうを設置しました。
- ・7月26日（水）～27日（木）  
排水機場設備の定期点検を実施し、設備に異常がないことを確認しました。  
(別紙3参照)  
また、点検に伴う水位上昇時に、擁壁等に付着していたと思われる、ごく少量の油の浮き出しを確認しましたが、オイルマットによる回収を行っており、施設敷地外や河川への流出は確認されていません。

- ・8月17日（木） 施設敷地外や河川への流出は確認されていませんが、引き続き予防措置としてオイルフェンスの設置を継続中です。なお、排水機場の擁壁の縫目（別紙2①②）において微量の油の染み出しがあるため、引き続きオイルマットによる対策を行い、適宜、オイルマットの交換を行っているところです。

### 3 今後の対応

引き続き定期的に点検及び監視するとともに、排水機場の樋門周辺のオイルフェンス設置を継続して行います。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部

公物管理課長 市川 直也 （電話 0155-24-4102）

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>

土砂撤去の作業状況 (8/15撮影)



撤去土砂174袋分の仮置状況 (8/15撮影)



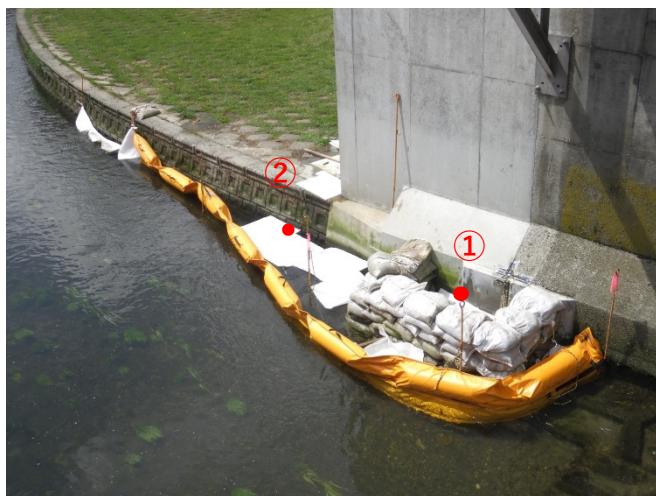
オイルフェンス設置状況 (8/15撮影)



## 染み出し対策箇所



染み出し対策箇所①②の状況  
(8/15撮影)



染み出し対策箇所③の状況  
(8/15撮影)



染み出し箇所 ●

仮設燃料配管の敷設状況（8/15撮影）



定期点検の作業状況（7/26撮影）



定期点検に伴う水位上昇状況（7/27撮影）

